



# かんたんセットアップガイド

本製品（FALCON 201）を使って、アナログメーターに設置、ネットワークに接続、検針校正、手動検針を行う手順を説明します。別紙「製品付属説明書」をお読みになったうえで、作業をはじめてください。

本製品の利用方法については、各マニュアルを参照してください。

**製品情報 / FAQ（困ったときは）**

- 取付治具の使用方法については、「取付治具説明書」をお読みください。
- Webシステムの操作説明は、検針Webシステムにアクセスしてください。
- サポートへご連絡する前に別紙「製品付属説明書」をお読みください。

V1.2

**はじめに確認しましょう**  
パッケージの内容を確認します。

<input type="checkbox"/> FALCON 201本体	1台	<input type="checkbox"/> かんたんセットアップガイド（本マニュアル）	1枚
<input type="checkbox"/> 取付治具及び取り扱い説明書	1種類		
<input type="checkbox"/> 製品付属説明書	1枚		

## STEP 1 Webアプリの設定を行いましょ

- FALCON 201(旧名称：OCRカメラ)を使用するため、予めFALCON 201本体をWebアプリに登録する必要があります。
- WebアプリはChrome, Edge, Firefox, Safari, IE11以上をサポートします。

### 1 FALCON 201と計測対象のメータのペアリングを行います。

- ① ユーザ名、パスワードを入力し、ログインします。
- ② メニューの「検針管理」→「計測対象メータ管理」をクリック。計測対象メータは表示されていること確認。  
該当メータが見つからない場合、登録が必要になります。詳しくはWebアプリのマニュアルをご確認ください。
- ③ 該当計測対象メータを見つけたら、基本情報の設定を行います。



A: デバイスIDからこれから設置するFALCON 201のIDを選択するか、QRコードスキャンで簡単にデバイスIDを読み込めます。

B: 対象メータのカウントタイプを確認して、設定します。

- ⑤ ペアリング完了後、「検針管理」→「検針結果」から設置目標のメータが出現したことを確認。デバイスの状態は「未初期化」。

※ FALCON 201状態一覧

未初期化	本体出荷時の状態、検針動作不可。
初期化済	本体初期化完了、検針動作不可。一時的な状態
稼働中	初回手動検針/校正処理完了後に遷移、検針動作可能
非活動（休眠）	本体データアップロードしない、インアクティブの状態

### 2 計測メータの属性を設定します。

- ① メニューの「検針管理」→「検針結果」から、計測メータの小数位と乗率を設定します。



メータ設定画面にて、下記項目の編集にご確認ください。

**乗率:** 計器の表示数に乘する乗率で、計量値は「表示数×乗率」となります。（デフォルト乗率は1）

**小数位:** 計器で表示された数字の後ろ何桁は小数かを設定で変更が可能です。（デフォルトは1.0, 小数位なし）

例えば乗率500, 最後の数字だけが小数のメータで、表示数字は7477の場合、最終検針値は747.7(小数計算)X500=373850になります。

## STEP 2 FALCON 201を設置しましょ

- ネットワーク回線契約が完了していることをご確認ください。事前にサービスプロバイダー、代理店等とのご契約が必要です。
- 工場出荷時に端末は未初期化状態です。

初期化済か否かは、STARTボタン押した後のLEDの状態によって判断できます。



**ご注意:**

- 下記の操作は、FALCON 201本体を固定した後に行ってください。
- FALCON 201本体を設置する前に、必ず計測対象メータ表面の汚れを拭き取ってください。
- 固定治具がある場合、「固定治具取り扱い説明書」を参照して設置を行ってください。

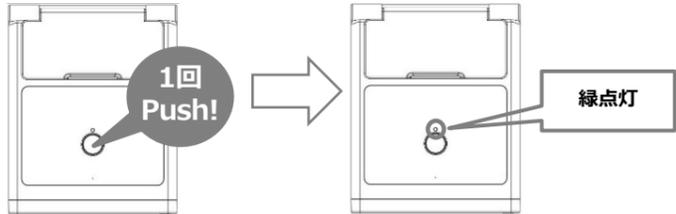
## 1 位置校正処理を行います。

**！** **ご注意：**  
メータ読取り認識率を上げるため、取付治具及びFALCON 201本体を取付けるたびに本処理を必ず実施してください。

**説明 1：**  
位置校正処理：アナログメータのカウンター（数字）位置を正確に識別するために、メータ画像データをサーバーにアップロードし、Webアプリケーションより手動で位置校正、選択することを指します。

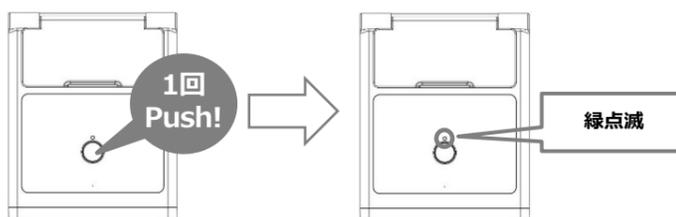
**説明 2：**  
校正処理・手動検針処理の操作手順が同じであり、FALCON 201初期化処理は初回手動検針で行います。

### ①STARTボタンを一回押すと、待機状態に入ります

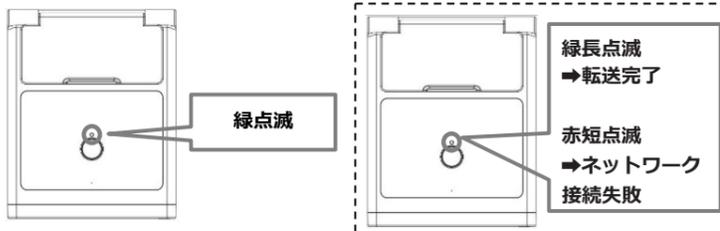


**2s 長押し**  
待機状態でSTARTボタンを2s長押しすると、撮影用の強いLEDが点灯します。この状態で、正面の窓から撮影領域を覗き込み、FALCON 201本体の位置調整が簡単になります。  
※メータの数字部分が撮影領域の下部に寄るように調整が必要です。

### ②待機状態からSTARTボタンを1回連続押すと、校正処理が開始します



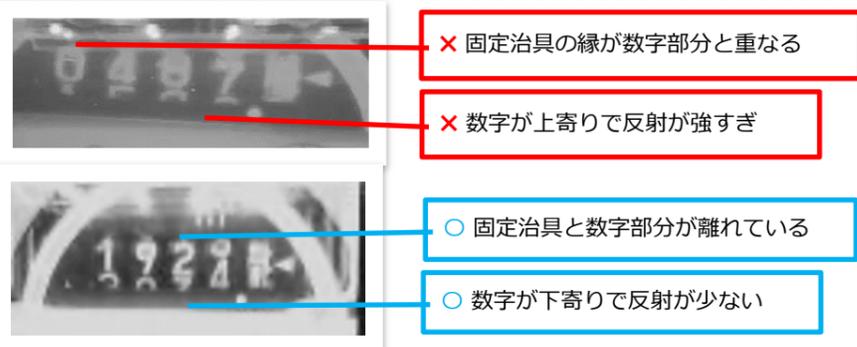
### ③緑点滅から緑長点滅に移したら、校正用画像が転送完了



### ④Webアプリで校正用画像の確認



Webアプリで画像を確認、汚れ、異物などで数字が見えない場合、先に処理しましょう。  
- 問題がある場合（数字がはっきり見えない）、FALCON 201本体の位置を調整し、ステップ①から再度校正をしてください。  
- 画像に問題ない場合、次のStepに進めてください。



### 調光補正：

フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したい時に使います。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり（反射が強くて、撮影に影響しないようにご注意ください）、発光量を少なくして被写体に光が強くなりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

## ⑤Webアプリで校正操作を行う



A：校正操作を行い、数字を一桁ずつ指定してください。操作方法は校正画面に記載されています。

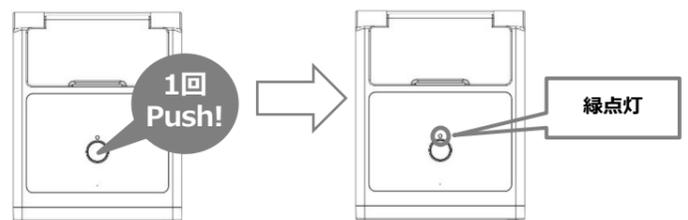
B：数字領域指定後、初期値を入力してください。（校正画像の数字を記入、小数点は無視）

AとBの入力完了後、OKをクリック

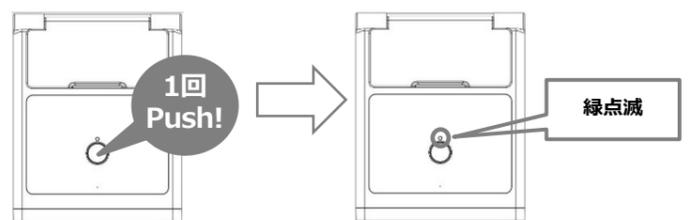
※ 位置校正処理は複数回実施できます。

## 2 手動検針で設置結果を確認します。

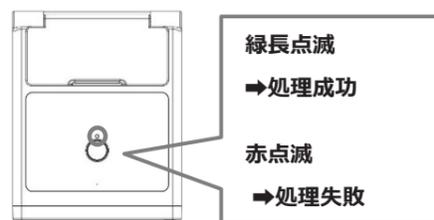
### ①STARTボタンを一回押すと、待機状態に入ります



### ②待機状態からSTARTボタンを一回押すと、手動検針を開始します



### ③手動検針の処理結果を確認



※ 手動検針は複数回実施できます。  
※ ネットワークの一時不調により処理が失敗する場合がありますため、失敗した場合は複数回確認することを推奨します。

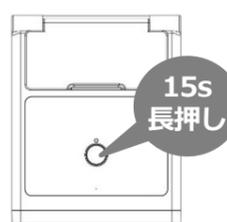
### ④Webアプリから識別結果を確認



詳細ボタンから検針履歴の詳細ページにアクセス。

検針履歴ページでは過去の検針結果を確認、ダウンロードすることができます。

FALCON 201の設置完了後、自動検針は自動的に行われます。**自動検針の場合メータ画像はアップロードされません。**画像を確認したい場合、手動で要求する必要があります。（Webアプリのヘルプをご参照ください）



稼働中のFALCON 201を一時的に休眠させることができます。一旦取り外して倉庫に戻す時などは、電力節約のため休眠操作を行ってください。

休眠操作：FALCON 201待機中（STARTボタンを一回押下した後の状態）に、STARTボタンを15秒長押し。  
※休眠中のFALCON 201は一回「校正処理」もしくは「手動検針」を実行すれば復帰します。

以上で、本製品の初期設定は完了です。